

7月中旬の概況

平年に比べ日照時間が短い ⇒ やや徒長気味な株が見られる

➡ 浅水管理、灌漑断水による茎の伸長抑制、根の健全化を！  
※好天での過乾燥には注意

✓ **適期防除の徹底！！！！**  
**トビイロウンカ、カメムシ類、いもち病に注意**



表1 農協で取り扱いのある剤

|                       |              |            |
|-----------------------|--------------|------------|
| いもち病                  | コラトップ粒剤5     | 出穂30～5日前まで |
| いもち病<br>ウンカ類<br>カメムシ類 | トリスタークル粉剤DL  | 出穂期前後      |
|                       | ブレードスタークルRゾル |            |

✓ **穂水花水を十分に！！**

穂ばらみ期から出穂開花期は水分の要求量が最大になります！  
3～5cmの湛水にしましょう  
(この時期でも連続5日以上の湛水は×)

➡ 登熟歩合を高める効果があります！

✓ **一発肥料でない方は穂肥を忘れずに！**

葉色を見て施肥量、タイミングを判断しましょう！

➡ 籾数の増加、登熟歩合の確保効果があります！

